

函館市地域包括支援センター社協

(地域包括支援センター運営業務)

令和5年度（2023年度）活動評価

令和6年度（2024年度）活動計画

東部圏域



— 目 次 —

1. 圏域の現状と課題	・・・	1
2. 重点活動	・・・	5
3. 令和5年度活動評価および令和6年度活動計画		
ア 地域包括支援センターの運営	・・・	6
(ア) 総合相談支援業務	・・・	6
(イ) 権利擁護業務	・・・	10
(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	14
(エ) 地域ケア会議推進事業	・・・	18
イ 生活支援体制整備事業	・・・	22
(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務	・・・	22
ウ 認知症総合支援事業	・・・	26
(ア) 認知症地域支援・ケア向上事業	・・・	26

圏域の現状と課題

1. 人口の推移と年齢構成

(人)

	H31.3	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	R5.9	割合	全市
年少人口	769	724	670	614	570	546	5.6%	8.9%
生産年齢人口	5,492	5,135	4,862	4,599	4,380	4,291	44.3%	54.2%
高齢人口	5,182	5,166	5,073	5,003	4,891	4,858	50.1%	37.0%
65～74歳	2,344	2,380	2,372	2,327	2,221	2,207	22.8%	16.8%
75歳以上	2,838	2,786	2,701	2,676	2,670	2,651	27.3%	20.2%

2. 世帯構成 (R5.9)

(世帯)

	世帯数	割合	全市
高齢者単身世帯	1,769	32.9%	26.6%
高齢者複数世帯	996	18.6%	13.1%
その他	2,604	48.5%	60.3%

3. 事業対象者・要支援認定者の状況

(人)

	R4.9	R5.9	全市
認定者数	315	321	7,441
認定率	6.4%	6.6%	8.3%
給付実績	136	134	4,612
給付率	2.7%	2.8%	5.2%

4. 介護保険サービス事業所数 (R5.9)

(件)

	事業所数
居宅介護支援等 (※1)	7
地域密着型サービス (※2)	5

※1 居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所の件数

※2 地域密着型サービス事業所（小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護を除く）の件数

5. 地域の現状・特徴

- 人口減少・生産年齢人口の減少により地域の担い手が不足している。また、人口減少・高齢化により空き家も増加し、互助力が低下傾向となっている。
- 公共交通機関に限りがあり、圏域内には眼科・整形外科・脳神経外科・精神科などの専門医療機関がないため、必要な医療を身近に受ける事ができない地域格差がある。
- 外出・活動の場への参加について、移動手段が限られていることや移動距離が長いこと、参加しにくい状況である。

1) 医療機関数 (件)

	戸井	恵山	楳法華	南茅部	計
医科	1	1	1	2	5
歯科	1	1	0	2	4
薬局	1	1	1	2	5

(診療科)

- ①杉山クリニック
内科・消化器科
- ②市立函館恵山病院
内科・外科
整形外科(第1/3金曜日) 市立函館病院
眼科(最終週の月曜日) 市立函館病院
- ③楳法華クリニック
外科・消化器科・皮膚科
- ④市立函館南茅部病院
内科・外科
整形外科(第4 金曜日)
眼科(第4 水曜日) R5年度現在未対応
- ⑤坂口内科クリニック
内科

(送迎対応)

- ①杉山クリニック(送迎なし)
 - ②市立函館恵山病院(巡回バス)
 - ③楳法華クリニック(送迎あり)
 - ④市立函館南茅部病院(巡回バス)
 - ⑤坂口内科クリニック(送迎あり)
- ※おおむら整形外科クリニックの送迎対応がR6.3月末で終了。

2) 介護保険事業所 (件)

在宅系	戸井	恵山	楳法華	南茅部	計
居宅介護	0	1	1	1	3
訪問介護	0	0	0	1	1
通所介護	1	1	1	1	4
短期入所	1	1	0	1	3
訪問入浴	0	0	0	1	1
小多機	2	0	0	1	3
看護小多機	0	1	0	0	1

(件)

入所系	戸井	恵山	楳法華	南茅部	計
サ高住	2	1	0	0	3
GH	1	1	0	1	3
特養	1	1	0	1	3
介護付有料	0	0	1	0	1

※小規模多機能型居宅介護事業所は、通所や泊まりのサービス提供は行っているが、職員不足により訪問サービスが実施できていない状況にあり、事業所の機能が果たせていない。

本来、サービスを利用することで在宅生活の限界点が高まることが期待されるが、低い状況となっている。

※訪問入浴サービスについては、令和6年3月末で廃止。

※戸井地区通所介護事業所は、令和6年3月末で廃止。

※令和5年度まで居宅介護支援事業所「みなみかやべ」および「とどほっけ」では各2名体制であったが、

令和6年4月より各1名体制となる。

※圏域の居宅介護支援事業所で対応ができず、旧市内の事業所で対応することが多くなっている。

3) 公共交通機関の状況

①路線バス（令和6年4月1日現在。一部路線を抜粋）

日ノ浜団地発 函館バスセンター行	
1	06:11
2	08:16
3	10:35
4	12:59
5	14:57
6	16:22
7	17:56
8	18:42

南茅部支所発 函館バスセンター行	
1	07:06
2	08:18
3	11:40
4	13:55
5	16:09
6	17:53

日ノ浜団地発 楸法華支所行	
1	10:46
2	13:00
3	15:01
4	18:04

楸法華支所発 日ノ浜団地行	
1	10:22
2	14:44
3	18:21

②タクシー

函館市内には、タクシーの営業区域が2つ存在し、出発地および到着地の両方ともを同一営業区域内とする旅客の運送はできない。

<函館交通圏> 函館市（旧南茅部町区域を除く）、北斗市、七飯町

<森 圏> 函館市（旧南茅部町区域）、鹿部町、森町

このような状況の中、地元の南茅部ハイヤー（有）が令和元年10月に廃業したため、地元の足を確保する観点から、令和2年12月から第一交通産業グループが営業区域拡大の特例により、南茅部地域をカバーしている。

<運行事業者>（株）ことぶき第一交通、美咲第一交通（株）

③その他

この圏域は人口が少なく、路線バス利用者も少ないという実情から、将来的に路線バスを維持することは難しく、市で新たな交通の導入を含め、地域の足の確保を目指すこととしている。

4) 食料品等を扱う店舗（本格的に営業している商店のみ）

(件)

	戸井	恵山	楸法華	南茅部	計
路面店	3	1	1	2	7
移動販売	2	3	2	1	8
コンビニ	1	2	0	3	6
中型店舗	0	1	0	2	3

<路面店> 戸井：①宇美商店 ②滝山田商店 ③加藤商店

楸法華：小林商店

<移動販売> ①函館牛乳 ②八百屋 ③ダイシメ ④モロイ等

※コープさっぽろ「おまかせ便カケル」を除く

<コンビニ> ①セイコーマート ②セブンイレブン ③ローソン

<中型店舗> ①サツドラ ②イエローグローブ ③ニコット

※大型店舗がなく、衣類・雑貨等の購入が難しい。

※コープさっぽろの宅配サービス「トドック」を利用している方もいるが、購入手続き自体を行えない方も多い。

※移動販売は取り扱う食材に限られることから、惣菜を購入して食べる方もいる。

6. 日常生活圏域レベルの地域課題の整理に基づく地域課題

優先順位	地域の問題	問題が生じている要因	地域課題
1	買い物・病院受診・手続きのための移動が行えない (移動手段の確保)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援サービスがない。 ・以前は地域で助け合い行えていたが、担い手が少なくなったことで地域力が低下している。 ・地域住民が生活に必要な手段を知らない、活用できていない。 ・買い物、病院受診が困難になった時に使えるインフォーマルサービスを活用できていない。 	地域住民が移動手段等の社会資源を知ることができない。(移動、買い物、手続きなど)
2	必要なサービスを受けることができず、在宅生活の継続が困難な高齢者が増えている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が遠方で暮らしており支援できない、協力を得られない等で在宅生活の限界が早い。 ・地域を把握できていない介護支援専門員が活動することで地域資源を知らず、必要なサービスに結びつけることができない、活用できていない。 ・地域の高齢者も生活に必要な資源を十分把握していない。 ・地域に関わる関係機関が地域の情報を持っていない。 ・介護サービス事業所の廃止により、サービス調整が困難になってきている。 	介護支援専門員が在宅生活を継続できるようケアマネマネジメントが行える。
3	地域活動の担い手不足でくらしの困りごとに対応できなくなっている	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により町内会への関心や参加がない。 ・地域として問題解決しようとする意識が低い。 ・若い世代の互助力に対する関心が低下している。 ・活動できる高齢者(ボランティア等)が少なくなっている。 ・町会単位での活動が少ない、協力者がいない。 ・若い世代の取り組みが困難、アプローチが難しい。 	元気高齢者が地域の活動に関心や興味を持つことができる。

7. そのほか地域の現状やニーズに基づく地域課題

- ・圏域内クリニック医師の高齢化により、地域医療の低下が懸念される。
- ・空き家が多くなってきており、倒壊の恐れがある。捨て猫なども多くなってきていることで、不衛生で近隣トラブルが懸念される。
- ・若い世代が住める環境となっていない。

重点活動

番号	地域課題	各業務での取組
1	地域住民が移動手段等の社会資源を知ることができる。(移動、買い物、手続きなど)	①社会資源の洗い出し、整理し一覧作成 (旧市内の医療機関、地域の商店情報) ②社会資源の情報発信、広報啓発 ③地域へ課題を投げかけ、新たな取り組みへ発展、資源開発 (地域ケア会議開催)
2	介護支援専門員が在宅生活を継続できるようケアマネマネジメントが行える。	①社会資源の洗い出し、整理し一覧作成 (旧市内の医療機関、地域の商店情報等) ②地域で活動している介護支援専門員との情報共有 ③自立支援に資するケアマネジメントの強化
3	元気高齢者が地域の活動に関心や興味を持つことができる。	①地域ケア会議開催 (地域での活動を紹介し興味関心を持っていただく) ②活動グループの掘り起こし、情報整理 ③活動している町会等の活動内容を広報啓発

令和5年度活動評価および令和6年度活動計画

ア 地域包括支援センターの運営

(ア) 総合相談支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第1号

【目的】地域の高齢者等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。

事業内容	令和5年度 活動評価				
	実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価	
総合相談支援業務	○利用者基本情報作成状況 (件・人・%)				
		R3年度	R4年度	R5年度	
	目標数値	502	458	423	
	作成数	予防給付	49	50	39
		うち新規	0	1	1
		見守り	49	26	61
		うち新規	12	18	35
		その他	376	419	339
	うち新規	107	99	98	
	合計(A)	474	495	439	
うち新規	119	118	134		
高齢者人口(B)	5,003	4,891	4,858		
実態把握率(A/B)	9.5%	10.1%	9.0%		
○総合相談対応件数 (件)					
	R3年度	R4年度	R5年度		
実件数	655	740	667		
延件数	815	847	791		
戸井地区	282	296	277		
	35%	35%	35%		
	恵山地区	256	224	225	
		31%	27%	28%	
椴法華地区	70	74	57		
	9%	9%	8%		
南茅部地区	204	248	226		
	25%	29%	29%		
※R5年度は推計値					
○相談形態内訳（延） (件)					
	R3年度	R4年度	R5年度		
電話相談	241	240	261		
来所相談	61	65	63		
訪問相談	511	538	460		
その他	2	4	7		
※R5年度は推計値					
○新規広報啓発先 南茅部小学校					
○料理教室実績					
①（日時）令和5年5月10日（水） 10：00～12：30 （場所）戸井西部総合センター （参加者）13名					
②（日時）令和5年9月27日（水） 9：30～12：30 （場所）戸井西部総合センター （参加者）13名					
【活動目標】 ・地域住民が異変に気づき相談機関に繋げることができる。					
【評価】 ・計画していた広報紙の全戸配布、地域包括支援センター（以下「センター」という。）定例ミーティングは実施できた。コンビニエンスストアより情報提供等がいただけるようになってきているが、連携が十分とは言えないため、更に連携の強化が必要である。また、クリニックとの連携強化については、社会福祉士部会で作成したリーフレットを活用し、連携について協力を依頼できた。職員のスキルアップおよびランチとの連携については、定例ミーティングを通して情報の共有や連携方法について検討、実行できた。					
・総合相談件数については、相談者の続柄では、医療機関や行政機関からの相談が微増となっており、広報啓発活動の効果も見込まれ、目標が達成できたと評価する。しかしながら、地域住民が異変に気づき相談機関に繋がることから、引き続き次年度も同じ目標で取り組むこととしたい。					
【活動目標】 ・高齢者が健康管理や適切な受診行動をすることができる。					
【評価】 ・自主活動グループや老人クラブのほか、新たに函館市老人クラブ連合会恵山地区や恵山地区身体障害者福祉協議会へ出前講座を実施し、広報啓発活動を実施した。出前講座では、健康チェックを行っており、必要に応じて病院受診が必要な方へ指導しており、目標は達成できたと評価する。しかしながら、高齢者が必要な健康管理や受診行動が行えるよう継続した取組が必要であるため、次年度も同じ目標で取り組むこととしたい。また、社会資源として医療機関の情報を整理し、周知活動を行うこととしたい。					

令和6年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民が異変に気づき相談機関に繋げることができる。</p> <p>・高齢者が健康管理や適切な受診行動をすることができる。</p>	<p>(相談体制の維持・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○センターが実施する出前講座のほか、社会福祉協議会（以下「社協」という。）各支所が実施する事業および老人クラブ等の場を活用し、新規相談に結び付ける。 ○センターが気軽に相談できる窓口であることを周知。 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の全戸配布、年1回。 ※戸井地区：約1,030世帯、恵山地区：約1,500世帯 楯法華地区：約400世帯、南茅部地区：約2,300世帯 ○関係機関への広報紙の配布。 <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアへ設置の協力依頼。 ・連携の強化 <p>(職員のスキルアップ・ランチとの連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○センター定例ミーティングの開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・センター職員とランチ職員との連携強化を目的として実施。 ・情報共有を定期的を実施することで職員の知識や判断について意識統一を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ○自主活動グループや老人クラブ団体への広報啓発を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の必要性について広報・啓発 ・健康診断の受診や病院受診の必要性について広報・啓発 ・東部外出支援サービスについての広報・啓発 ・戸井地区外出支援サービスについての広報・啓発 ○社会資源の整理、周知 <ul style="list-style-type: none"> ・旧市内の医療機関情報の整理 ・地域の商店情報の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報の作成数 ・相談対応件数 ・相談者の続柄 ・相談形態内訳 ・広報紙の発行 ・新規広報紙配布機関 ・地区別相談件数 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座回数 ・広報啓発回数 ・自主活動支援回数

(7) 総合相談支援業務

事業内容	令和5年度 活動評価																																																							
	実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価																																																				
総合相談 支援業務	○相談者の続柄内訳（延・重複あり）			<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期高齢者が自分の食生活の問題に気づくことができる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理教室の開催を通して自身の食生活への見直しや改善に向けて管理栄養士より説明等を行った。継続して教室を開催してきているが、減塩の方法やカルシウムの摂取の方法について理解が深まって来ていると感じる。そのため、目標について達成できたと評価する。ただし、担当圏域全体をカバーできていないことから次年度榎法華地区にてサロンを立ち上げる予定であるため、料理教室実施に向けて打診することとし継続した目標で取り組むことしたい。 <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉連携会議（以下「連携会議」という。）等を通して関係機関との連携の継続、地域密着型事業所との連携が行え、新規相談に結び付ける事ができる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携会議については、新型コロナ前と同等程度まで開催することができ、介護支援専門員・警察・消防・医療機関からの相談もあり、連携会議においては、榎法華地区の連携会議へ東消防署日ノ浜出張所が新たに参加したことで、関係機関との連携強化ができ、早期の対応が行えたと評価する。また、地域密着型事業所との連携強化については、地域密着型運営推進会議（以下「運営推進会議」という。）への出席を通して早期相談への周知を実施することができ、早期相談への意識を高める関わりが行えたと評価する。各支所市民福祉課との意見交換については連携会議の場で連携が行えた。上記内容から連携会議や運営推進会議を通じた連携強化、早期対応が行え、目標は達成したと評価する。次年度についても、関係機関との連携、地域密着型事業所との連携が早期相談につながることから今年度と同様の目標とする。 																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人</td> <td>344</td> <td>390</td> <td>337</td> </tr> <tr> <td>家族親族</td> <td>250</td> <td>253</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>32</td> <td>20</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>町会・在宅福祉委員</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>知人・近隣住民</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>65</td> <td>46</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>介護保険事業所職員</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>54</td> <td>31</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>行政機関職員</td> <td>44</td> <td>22</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>警察・消防署職員</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>民間企業</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>					R3年度	R4年度	R5年度	本人	344	390	337	家族親族	250	253	257	民生委員	32	20	15	町会・在宅福祉委員	0	3	0	知人・近隣住民	8	10	7	介護支援専門員	65	46	71	介護保険事業所職員	15	9	9	医療機関	54	31	53	行政機関職員	44	22	38	警察・消防署職員	4	4	3	民間企業	0	4	3	その他	8	16	14
		R3年度	R4年度		R5年度																																																			
	本人	344	390		337																																																			
	家族親族	250	253		257																																																			
	民生委員	32	20		15																																																			
	町会・在宅福祉委員	0	3		0																																																			
	知人・近隣住民	8	10		7																																																			
	介護支援専門員	65	46		71																																																			
	介護保険事業所職員	15	9		9																																																			
	医療機関	54	31		53																																																			
	行政機関職員	44	22		38																																																			
	警察・消防署職員	4	4		3																																																			
	民間企業	0	4		3																																																			
その他	8	16	14																																																					
○相談内容内訳（延・重複あり）																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険・総合事業</td> <td>406</td> <td>345</td> <td>415</td> </tr> <tr> <td>保健福祉サービス</td> <td>340</td> <td>277</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>介護予防</td> <td>16</td> <td>31</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>心身の健康</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>認知症</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>住まい</td> <td>34</td> <td>19</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>権利擁護</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>安否確認</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				R3年度	R4年度	R5年度	介護保険・総合事業	406	345	415	保健福祉サービス	340	277	52	介護予防	16	31	284	心身の健康	30	30	35	認知症	35	25	27	住まい	34	19	24	権利擁護	3	14	17	安否確認	0	8	2	その他	11	4	3														
	R3年度	R4年度	R5年度																																																					
介護保険・総合事業	406	345	415																																																					
保健福祉サービス	340	277	52																																																					
介護予防	16	31	284																																																					
心身の健康	30	30	35																																																					
認知症	35	25	27																																																					
住まい	34	19	24																																																					
権利擁護	3	14	17																																																					
安否確認	0	8	2																																																					
その他	11	4	3																																																					
○利用調整内訳（サービス種別）																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活援助員派遣</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>外出支援サービス</td> <td>120</td> <td>115</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>除排雪サービス</td> <td>68</td> <td>67</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>ショートステイサービス</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>緊急通報システム</td> <td>39</td> <td>29</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R5年度は推計値</p>				R3年度	R4年度	R5年度	生活援助員派遣	5	8	8	外出支援サービス	120	115	117	除排雪サービス	68	67	11	ショートステイサービス	7	2	3	緊急通報システム	39	29	31																														
	R3年度	R4年度	R5年度																																																					
生活援助員派遣	5	8	8																																																					
外出支援サービス	120	115	117																																																					
除排雪サービス	68	67	11																																																					
ショートステイサービス	7	2	3																																																					
緊急通報システム	39	29	31																																																					
○広報啓発活動																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙の発行</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>パンフレット等の配布</td> <td>11</td> <td>25</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>出前講座・講師派遣</td> <td>7</td> <td>19</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R5年度は推計値</p>				R3年度	R4年度	R5年度	広報紙の発行	2	2	2	パンフレット等の配布	11	25	37	出前講座・講師派遣	7	19	22																																						
	R3年度	R4年度	R5年度																																																					
広報紙の発行	2	2	2																																																					
パンフレット等の配布	11	25	37																																																					
出前講座・講師派遣	7	19	22																																																					
○ネットワーク構築																																																								
①保健医療福祉連携会議開催回数																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸井地区</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>恵山地区</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>榎法華地区</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>南茅部地区</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R5年度は推計値</p>				R3年度	R4年度	R5年度	戸井地区	5	6	6	恵山地区	3	6	6	榎法華地区	2	3	4	南茅部地区	4	4	6																																		
	R3年度	R4年度	R5年度																																																					
戸井地区	5	6	6																																																					
恵山地区	3	6	6																																																					
榎法華地区	2	3	4																																																					
南茅部地区	4	4	6																																																					
②地域密着型サービス運営推進会議																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームさらさの杜：書面開催5回、開催1回 ・小規模多機能あいある小安：開催4回 ・小規模多機能潮太郎：開催4回 																																																								

令和6年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・高齢者が自分の食生活の問題に気づくことができる。</p> <p>・連携会議等を通して関係機関との連携の継続、地域密着型事業所との連携が行え、新規相談に結び付ける事ができる。</p>	<p>○高齢者が食生活の問題に気づけるよう栄養教室を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸井地区元気ハツラツ料理教室（年2回開催） ・各自主グループや関係団体等と検討を行い実施する。（椴法華地区） <p>○連携会議の開催（※隔月開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数月～戸井地区（クリニック、薬局、戸井支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所） ・偶数月～恵山地区（市立函館恵山病院、消防署、恵山支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所） ・奇数月～椴法華地区（クリニック、消防署、椴法華支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所） ・奇数月～南茅部地区（市立函館南茅部病院、薬局2か所、駐在所、南茅部支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所） <p>○広報紙の配布（設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵便局：11か所 ・漁業協同組合：11か所 ・金融機関：1か所 ・消防署：3か所 ・駐在所：8か所 ・病院：2か所 ・クリニック：3か所 ・歯科：5か所 ・薬局：5か所 ・学校：8か所（戸井学園、えさん小学校、恵山中学校、椴法華小学校、椴法華中学校、南茅部小学校、南茅部中学校、南茅部高校） <p>上記以外で新たな設置場所について検討。（コンビニエンスストア等）</p> <p>○民生児童委員協議会定例会、在宅福祉委員会との意見交換を継続的に実施する。</p> <p>○見守りネットワーク事業の実施の際に、民生児童委員（以下「民生委員」という。）との情報共有を密にし、対象世帯の実態把握を実施する。</p> <p>○運営推進会議への出席を通して、センターへの早期相談のメリットや相談のタイミングの共有を図る。</p> <p>○戸井支所、恵山支所、椴法華支所、南茅部支所の各市民福祉課との意見交換の機会を設け連携を図る。（必要時）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教室の開催回数 ・高齢者参加者数 <ul style="list-style-type: none"> ・相談者の続柄 ・相談内容 ・利用調整 ・広報啓発活動 ・ネットワーク構築

(イ) 権利擁護業務

【根拠法令】 介護保険法第115条の45第2項第2号

【目的】 高齢者等が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者等の権利擁護のため、必要な支援を行う。

事業内容	令和5年度 活動評価																																																																																																																			
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																																																																																																		
権利擁護業務	<p>○権利擁護相談対応状況</p> <p>・対応件数 (件、回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケース数（実）</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>（再）医療と連携あり</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R5年度は推計値</p> <p>・対応事案内訳（実・重複あり） (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者虐待</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 終結数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 終結率</td> <td>50.0%</td> <td>33.3%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>セルフネグレクト</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>成年後見等</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>困難事例</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R5年度は推計値</p> <p>・相談者・通報者 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>近隣住民・知人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本人</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>家族・親族</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>警察・消防</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>医療機関従事者</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>民間企業</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R5年度は推計値</p> <p>○医療機関とのネットワーク構築</p> <p>①個別ケース支援連携数 16件</p> <p>②ネットワーク構築方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携会議の開催 ・個別地域ケア会議への招集 ・個別ケース支援での連携 <p>③連携およびネットワーク構築機関</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>杉山クリニック</td> <td>楯法華駐在所</td> </tr> <tr> <td>レインボー薬局戸井店</td> <td>市立函館南茅部病院</td> </tr> <tr> <td>戸井西駐在所</td> <td>坂口内科クリニック</td> </tr> <tr> <td>戸井郵便局</td> <td>みなかわ薬局</td> </tr> <tr> <td>市立函館恵山病院</td> <td>さくら薬局</td> </tr> <tr> <td>レインボー薬局恵山店</td> <td>南茅部駐在所</td> </tr> <tr> <td>市東消防署日ノ浜出張所</td> <td>白尻駐在所</td> </tr> <tr> <td>恵山駐在所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>楯法華クリニック</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	ケース数（実）	16	14	15	（再）医療と連携あり	7	9	7		R3年度	R4年度	R5年度	高齢者虐待	2	3	7	終結数	1	1	7	終結率	50.0%	33.3%	100%	セルフネグレクト	0	0	1	成年後見等	0	0	0	消費者被害	1	0	0	困難事例	12	11	7	その他	0	0	0		R3年度	R4年度	R5年度	介護支援専門員	2	2	1	介護サービス事業所	2	0	0	近隣住民・知人	0	0	0	民生委員	0	0	1	本人	0	1	1	家族・親族	10	4	3	行政	4	1	3	警察・消防	0	1	2	医療機関従事者	8	2	0	民間企業	0	2	1	その他	3	1	3	杉山クリニック	楯法華駐在所	レインボー薬局戸井店	市立函館南茅部病院	戸井西駐在所	坂口内科クリニック	戸井郵便局	みなかわ薬局	市立函館恵山病院	さくら薬局	レインボー薬局恵山店	南茅部駐在所	市東消防署日ノ浜出張所	白尻駐在所	恵山駐在所		楯法華クリニック		<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や関係機関が早期に相談することができる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護ケースの要因として、①個人的要因（治療が必要と思われるが病識がなく受診に至っていない、健康意識が低い、認知機能の低下により生活に支障を来している、経済困窮）によるもの、②社会的要因（家族関係が不良、本人の疾病への病識がない、家族自身が病気を抱え支援が必要、身寄りがいない）によるものが多く見られ、自立相談支援機関、医療機関や薬局と連携し支援することができた。 ・虐待ケースでは警察からの帳票ケースや駐在所からの相談が散見され、関係機関と情報共有し個別ケースの検討を行う地域ケア会議に出席いただくことにより、地域とのつながりや連携を意識し支援につなげることができた。 ・特に虐待ケースでは警察と連携し支援に携わることが不可欠であることから、より一層の連携が必要と思われる。 ・身寄りがいない、キーパーソンとなる親族が不在、家族との関係が不良でキーパーソンとなり得ないなど複数の問題を抱えている世帯が増える傾向にあり、潜在的に埋もれているケースも見込まれるため、今後も地域住民や関係機関への周知、各関係機関との連携が必要である。 ・上記内容から関係機関と連携し早期に相談を受け対応できたため、目標は達成できたと評価する。近年、困難化したケースが増加しており、これまで以上に関係機関との連携が重要と思われる。引き続き連携を強化し関係機関より早期に相談していただけるように取組みを実施することとしたい。
		R3年度	R4年度	R5年度																																																																																																																
	ケース数（実）	16	14	15																																																																																																																
	（再）医療と連携あり	7	9	7																																																																																																																
		R3年度	R4年度	R5年度																																																																																																																
	高齢者虐待	2	3	7																																																																																																																
	終結数	1	1	7																																																																																																																
	終結率	50.0%	33.3%	100%																																																																																																																
	セルフネグレクト	0	0	1																																																																																																																
	成年後見等	0	0	0																																																																																																																
消費者被害	1	0	0																																																																																																																	
困難事例	12	11	7																																																																																																																	
その他	0	0	0																																																																																																																	
	R3年度	R4年度	R5年度																																																																																																																	
介護支援専門員	2	2	1																																																																																																																	
介護サービス事業所	2	0	0																																																																																																																	
近隣住民・知人	0	0	0																																																																																																																	
民生委員	0	0	1																																																																																																																	
本人	0	1	1																																																																																																																	
家族・親族	10	4	3																																																																																																																	
行政	4	1	3																																																																																																																	
警察・消防	0	1	2																																																																																																																	
医療機関従事者	8	2	0																																																																																																																	
民間企業	0	2	1																																																																																																																	
その他	3	1	3																																																																																																																	
杉山クリニック	楯法華駐在所																																																																																																																			
レインボー薬局戸井店	市立函館南茅部病院																																																																																																																			
戸井西駐在所	坂口内科クリニック																																																																																																																			
戸井郵便局	みなかわ薬局																																																																																																																			
市立函館恵山病院	さくら薬局																																																																																																																			
レインボー薬局恵山店	南茅部駐在所																																																																																																																			
市東消防署日ノ浜出張所	白尻駐在所																																																																																																																			
恵山駐在所																																																																																																																				
楯法華クリニック																																																																																																																				

令和6年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民や関係機関が早期に相談することができる。</p>	<p>○権利擁護業務に関する出前講座を開催することで、相談窓口としての周知を図り、軽微な事例であっても気軽に相談できる意義付けを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護をテーマにした出前講座を開催する ・民生児童委員協議会定例会の場を活用した周知を行う。 ・社協各支所の事業開催時にパンフレットを配布する。 <p>○医療機関へセンターの役割の周知を継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行及び医療機関への配布依頼を継続する。 <p>○連携会議を継続して開催し対応についてのフィードバックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン、老人クラブでの出前講座を開催する。 ・広報誌に権利擁護についての記事を掲載する。 <p>○ネットワークが構築されている圏域内の各医療機関から、連携会議等の開催などを通して、支援が必要な高齢者の情報を早期に把握する。</p> <p>○成年後見センター、消費生活センター、警察等関係機関からの情報を活用し、常に新しい情報を提供することを意識して出前講座を開催する。</p> <p>○老人クラブやサロンなど様々な場を利用して、多くの地域住民に地域の見守りの重要性について、繰り返し普及啓発を行う。</p> <p>○広報誌に権利侵害についての記事を掲載し、各種事業で配布するとともに、幅広い層の住民が入手できるよう、年1回全戸配布する。</p> <p>○圏域内の関係機関との事例検討会を開催し、関係機関との連携強化を図る。</p> <p>○圏域内支所との意見交換の場を設け、相談内容等の共有を図り、相談内容に応じた連携方法を検討し連携強化を図る。</p> <p>○警察との連携強化のため、戸井地区、恵山地区、椴法華地区の警察機関に連携会議への参画を依頼し、連携強化を図る。 ※南茅部地区については、既に参画している。</p>	<p>○権利擁護相談対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 ・対応事案内訳 ・相談、対応者内訳 <p>○高齢者虐待対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通報件数 ・通報者内訳 ・虐待実件数 ・虐待対応件数(実) ・終結件数(実) ・個別ケース連携数 ・ネットワーク構築方法 ・ネットワーク構築機関 ・高齢者虐待通報者内訳 ・権利擁護にかかる広報啓発回数 ・高齢者虐待、消費者被害、成年後見制度 ・出前講座、講師派遣の依頼機関

(イ) 権利擁護業務

事業内容	令和5年度 活動評価																																	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																
権利擁護業務	<p>○高齢者虐待等に関する研修会や事例検討会の開催 (回、件、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>参加機関(実)</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>参加者数(延)</td> <td>11</td> <td>23</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"><small>※R5年度は推計値</small></p> <p>【内容】</p> <p>○成年後見制度研修会 内容：成年後見制度の概要 申立状況 函館市成年後見センター概要 講師：函館市成年後見センター 職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南茅部地域 日時：令和5年9月6日（水） ・榎法華圏域 日時：令和5年9月25日（月） ・恵山圏域 日時：令和5年10月10日（火） ・戸井圏域 日時：令和5年10月12日（木） <p>○事例検討会 南茅部圏域 日時：令和5年7月13日（木） 内容：家族と支援の方向性が異なる場合の支援方法について</p> <p>○高齢者虐待等に関する研修会及び事例検討会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年8月28日（月） 成年後見事例検討会 ・令和6年2月13日（火） 長寿社会開発センター研究セミナー ・令和6年2月13日（火） 支援困難事例対応力向上セミナー ・令和6年2月20日（火） 令和5年度地域包括支援センター支援委員会研修会 ・令和6年3月22日（金） 令和5年度函館市高齢者・障がい者虐待防止講演会 ・令和6年3月22日（金） 令和5年度地域包括支援センター支援委員会研修会 <p>○困難事例についてのケースカンファレンス 7件</p> <p>○権利擁護業務にかかる広報・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 (回) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者虐待</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>成年後見</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>0</td> <td>21</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"><small>※R5年度は推計値</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座・講師派遣の依頼機関 恵山支所 社協恵山支所 社協南茅部支所 函老連恵山地区連絡協議会 恵山地区身体障害者福祉協会 		R3年度	R4年度	R5年度	開催回数	1	2	5	参加機関(実)	5	13	18	参加者数(延)	11	23	41		R3年度	R4年度	R5年度	高齢者虐待	8	4	22	成年後見	5	11	18	消費者被害	0	21	10	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して全職種にて権利擁護のスキルアップを図ることができる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度研修会の開催にあたり、函館市成年後見センターへ講師を依頼し、成年後見制度の概要や申立状況、センターの事業内容を説明いただくことにより、必要な知識を把握することができた。 ・連携強化を図ることを目的とした関係機関との事例検討会を開催し、世帯としての課題抽出、家族への支援方法、病院や薬局、警察との連携を深め適切な支援に結びつけるための意見交換を行った。意見交換をすることで関係機関からの助言等があり支援の方向性を確認することができた。 ・権利擁護に係る出前講座では、消費者被害を中心に説明したほか、高齢者虐待や成年後見制度についても広報紙への掲載、リーフレット配布にて周知を行った。 ・オンライン開催、動画配信による高齢者虐待に関する研修および権利擁護ケースに関する研修に参加することにより必要な知識の向上に努めることができた。 ・権利擁護ケースについて、自立相談支援担当を含め、センター内部にてジェノグラムやエコマップを用いて可視化し情報を共有、情報不足の確認や問題を明確化することにより適切な支援につなげることができ、目標は達成できたと評価する。ただし、今後も自立相談支援担当を含め、全職種が協力して対応できる体制を継続することが必要であることから来年度についても継続してスキルアップを図ることができる取り組みを実施したい。 ・朝のミーティングにてケースの進捗状況を報告することにより、切れ目のない支援を行えるよう継続する。 ・虐待ケースの対応時に苦慮することが多かったため、社会福祉士部会で対応時の困難な点を共有し協議することが必要と考える。
		R3年度	R4年度	R5年度																														
開催回数	1	2	5																															
参加機関(実)	5	13	18																															
参加者数(延)	11	23	41																															
	R3年度	R4年度	R5年度																															
高齢者虐待	8	4	22																															
成年後見	5	11	18																															
消費者被害	0	21	10																															

令和6年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・継続して全職種にて権利擁護のスキルアップを図ることができる。</p>	<p>○権利擁護に関する職員の対応力の維持向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護に関する研修会に参加する。 ・全職種で情報共有を図るとともにケース検討を行う。 (アセスメント、課題の抽出・分析を共有しながら支援の視点を養い、常に問題を共有する場を持ち、ケースの振り返りを行う) ・センター内部での権利擁護(成年後見制度等)に関する研修会を開催する。 <p>○権利擁護相談の内容によって、適切な関係機関と連携し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見センターとの連携 ・消費者センターとの連携 ・法テラスとの連携 ・行政、障がい分野などの関係機関との連携 ・問題が複雑化しているケースに対し、必要な機関とのつながりを意識する。 ・必要時は他機関を含めた個別地域ケア会議やカンファレンスを取り入れるよう意識する。 <p>○高齢者虐待や困難ケースについては、センター内ミーティングやケースカンファレンスを通して支援状況や方向性を確認し、アセスメントの強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待、困難事例成年後見制度、消費者被害に関すること ・研修会や事例研修会の開催回数、参加機関数および参加者数 ・研修会や事例研修会の参加回数

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第3号

【目的】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくための地域における多職種相互の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

事業内容	令和5年度 活動評価																																																																												
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																																																											
包括的 継続的 ケアマネジメント 支援業務	○介護支援専門員への個別支援状況（実） (件)	【活動目標】 ・介護支援専門員が他機関の専門職や地域の支援者となつたり連携できる 【評価】 ・介護支援専門員が連携会議に定期的・継続的に参加することで情報・課題を共有し、関係者となつたり連携することができた。 ・個別のケースの検討を行う地域ケア会議に参加いただいた地域支援者となつたり、連携することができた。 ・介護支援専門員に対する個別支援については、介護支援専門員が抱える問題・その要因、必要とする支援などを一緒に考え、資質・技術・トラブルへの対処能力の向上などに寄り添い支援（面談・同行・助言）した。また、居宅介護支援事業所内においても管理者へ報告・相談するよう助言した。 ・支援の参考に圏域の介護支援専門員にアンケートを実施したところ、①支援の中で困難を感じる原因・理由としては、「必要な介護・福祉サービスを拒否する」、「経済的困窮」、「在宅の意志が強いが同居などで在宅に限界がある」、「センターに期待する事としては、「相談機能の充実」「医療機関との連携」「社会資源の発掘・開発」が多く挙げられた。困難ケースの相談状況について相談できる相手がいるかについては、「地域包括支援センター」「他事業所の知り合い」が多く挙げられた。これらを踏まえて介護支援専門員の支援の向上に繋げることとした。 ・上記評価から、地域で活動する介護支援専門員が連携会議に参加し、他機関の専門職や地域の支援者となつたり連携する意識が一定程度定着しているため、目標は一部達成できたと評価する。目標が一部達成であることから次年度以降も連携できる取り組みを継続することとしたい。圏域居宅介護支援専門員数の減少に伴い旧市内からの介護支援専門員が参入し、地域の状況を把握できない介護支援専門員も一定程度いることから必要な時に必要な社会資源を切れ目なく活用できるよう援助が必要と考える。																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケース数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>終結数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>終結率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※R5年度は推計値</p>			R3年度	R4年度	R5年度	ケース数	2	1	2	終結数	2	1	2	終結率	100.0%	100.0%	100.0%																																																											
			R3年度	R4年度	R5年度																																																																								
	ケース数		2	1	2																																																																								
	終結数		2	1	2																																																																								
	終結率		100.0%	100.0%	100.0%																																																																								
	・相談者（重複あり） (件)		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>家族</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※R5年度は推計値</p>		R3年度	R4年度	R5年度	ケアマネ	1	1	1	本人	0	0	0	家族	1	0	1	行政	0	0	0	その他	0	0	0																																																		
			R3年度	R4年度	R5年度																																																																								
	ケアマネ		1	1	1																																																																								
	本人		0	0	0																																																																								
	家族		1	0	1																																																																								
	行政		0	0	0																																																																								
	その他		0	0	0																																																																								
	・支援内容 (件)		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報提供</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>支援方針助言</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計画作成助言</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地域とのつながり</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ケアマネ変更支援</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※R5年度は推計値</p>		R3年度	R4年度	R5年度	情報提供	0	1	0	支援方針助言	1	1	0	計画作成助言	0	0	0	地域とのつながり	0	0	0	ケアマネ変更支援	1	0	1	その他	0	0	1																																														
			R3年度	R4年度	R5年度																																																																								
情報提供	0	1	0																																																																										
支援方針助言	1	1	0																																																																										
計画作成助言	0	0	0																																																																										
地域とのつながり	0	0	0																																																																										
ケアマネ変更支援	1	0	1																																																																										
その他	0	0	1																																																																										
・支援に至った経緯 (件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネ自身の問題</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td> 対人援助技術</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td> 支援の不足</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>対象者の問題</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td> 認知症による</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td> 精神疾患による</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 支援拒否</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td> 不適切な要求</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 気質・性格の問題</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ケアプラン作成過程</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>多職種連携</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>関連制度理解</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>医療連携</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>家族関係の問題</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業所の問題</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>サービス調整</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地域連携・社会資源</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※R5年度は推計値</p>		R3年度	R4年度	R5年度	ケアマネ自身の問題	3	0	2	対人援助技術	2	0	1	支援の不足	1	0	1	対象者の問題	1	1	2	認知症による	0	0	1	精神疾患による	0	1	0	支援拒否	0	0	1	不適切な要求	0	0	0	気質・性格の問題	1	0	0	ケアプラン作成過程	0	0	0	多職種連携	0	0	0	関連制度理解	0	1	0	医療連携	1	0	0	家族関係の問題	1	1	0	事業所の問題	0	0	0	サービス調整	0	0	0	地域連携・社会資源	0	0	0	その他	0	0	0
	R3年度	R4年度	R5年度																																																																										
ケアマネ自身の問題	3	0	2																																																																										
対人援助技術	2	0	1																																																																										
支援の不足	1	0	1																																																																										
対象者の問題	1	1	2																																																																										
認知症による	0	0	1																																																																										
精神疾患による	0	1	0																																																																										
支援拒否	0	0	1																																																																										
不適切な要求	0	0	0																																																																										
気質・性格の問題	1	0	0																																																																										
ケアプラン作成過程	0	0	0																																																																										
多職種連携	0	0	0																																																																										
関連制度理解	0	1	0																																																																										
医療連携	1	0	0																																																																										
家族関係の問題	1	1	0																																																																										
事業所の問題	0	0	0																																																																										
サービス調整	0	0	0																																																																										
地域連携・社会資源	0	0	0																																																																										
その他	0	0	0																																																																										

令和6年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・介護支援専門員のケアマネジメント力の向上ができる。</p>	<p>○介護支援専門員の個別支援およびケアマネジメント体制の構築を適切かつ効果的に実践するため、事例検討を通じて実践の振り返り・確認・情報提供などの中で、介護支援専門員が抱える問題とその要因、必要とする支援を集計・分析・検証することで傾向などを把握し今後の包括運営（ケアマネジメント研修・自立支援型地域ケア会議・スキルアップ）等に活かす。 ⇒主任ケアマネ部会にて事例検討会の実施（毎月）</p>	<p>・連携会議数 ・個別支援数 ・終結数(率) ・対応方法 ・課題の背景</p>
<p>・介護支援専門員が社会資源を活用し支援できる。</p>	<p>○東部（旧4町村）地域における社会資源（フォーマル・インフォーマル）を把握し、一覧を作成のうえ介護支援専門員へ周知（1年間で集約）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーマル（医療・介護） ・インフォーマル（買い物・通院・自主活動など） 	<p>・社会資源一覧作成</p>
<p>・介護支援専門員が他機関の専門職や地域の支援者となつたり連携できる。</p>	<p>○連携会議（戸井・恵山・楸法華・南茅部） 「医師・看護師・薬局・東部保健事務所・支所・消防・駐在所・介護サービス事業所・居宅介護支援事業所」において隔月に開催する多職種連携・情報共有・地域連携など圏域の介護支援専門員と関係者がつながり・活動することへの意識づけを図る。</p> <p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議 対象となるケースがあった場合、地域ケア会議を通して、介護支援専門員が地域の支援者となつたり連携ができるように開催する。</p>	<p>・連携会議数 ・個別ケア会議数</p>

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業内容	令和5年度 活動評価																									
	実績（実施回数，内容，実施方法等）	活動目標に対する評価																								
包括的 継続的 ケアマネジメント 支援業務	1. 合同ケアマネジメント研修開催状況 ① 開催日時 会場 1回目 令和5年10月18日（水） 2回目 令和5年10月19日（木） 会場 函館市亀田交流プラザ（講堂） テーマ 信頼関係を構築できる面接方法を学ぶ ② 開催回数 (回) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table> <small>※R5年度は推計値</small> ③ 圏域の参加状況 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">参加者数</td> </tr> <tr> <td>事業所種別</td> <td>対象者数</td> <td>1回目</td> <td>2回目</td> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業所</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> </table> 参加率（居宅介護支援事業所） 60 %		R3年度	R4年度	R5年度	開催回数	2	2	2			参加者数		事業所種別	対象者数	1回目	2回目	居宅介護支援事業所	5人	2人	1人	合計	5人	2人	1人	【活動目標】 ・対象者及び家族の背景因子に着目し個々に寄り添った対人援助ができる。 【評価】 ・合同ケアマネジメント研修については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで会場開催で実施することができた。直接講師から講義を受けることで、グループワークも容易にでき、面接技法を楽しみながら自分の面接技法を振り返る事ができた。わかりやすい、聞きやすいなどの意見・感想が多かった。圏域の居宅介護支援事業所については、2日間開催で60%の参加状況となっている。令和5年度からケアマネジメント業務の一連のスキル向上を目的に3年計画の研修を企画し、1年目の昨年は信頼関係を構築できる面接の基本方法を学び、多くの気づきが得られた研修となった。次年度は学んだ面接の基本姿勢を礎に、次のステップとしてアセスメントについて学びを深めることとしている。
		R3年度	R4年度	R5年度																						
開催回数	2	2	2																							
		参加者数																								
事業所種別	対象者数	1回目	2回目																							
居宅介護支援事業所	5人	2人	1人																							
合計	5人	2人	1人																							
2. 圏域内ケアマネジメント研修開催状況 ①開催日時、会場 令和6年3月22日（金）15時～16時30分 会場 函館市戸井支所2階第1会議室 ・テーマ 自立支援型の地域ケア会議模擬演習（事例検討） 「事例概要・基本情報・計画表・チェックリスト・興味関心チェックシート・ICF表により質問を考える」 「課題を踏まえた上で専門職から自立支援に資する支援について支援方法や対応策について提案・助言」 ・圏域の参加状況 <table border="1"> <tr> <td>参加事業所（圏域）</td> <td>居宅介護支援事業所3,小規模多機能型2</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>連携状況</td> <td>訪問リハビリPTによる助言</td> </tr> </table>	参加事業所（圏域）	居宅介護支援事業所3,小規模多機能型2	参加者数	9名	連携状況	訪問リハビリPTによる助言																				
参加事業所（圏域）	居宅介護支援事業所3,小規模多機能型2																									
参加者数	9名																									
連携状況	訪問リハビリPTによる助言																									

令和6年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・対象者及び家族の背景因子に着目し個々に寄り添った対人援助ができる。</p>	<p>○合同ケアマネジメント研修の開催（2回） 〈開催日〉 令和6年10月17日（木）18日（金） 〈会 場〉 函館市亀田交流プラザ 講堂 〈テーマ〉 「個」を意識した情報収集と課題分析を学ぶ 〈研修形態〉 講義・演習（ハイブリッド） 〈内 容〉 ・アセスメントとは ・個人を知るための情報収集について ・見通しを立てた課題分析について 等 〈講師〉 みつばウエルビーイング株式会社 代表取締役 山内知樹 氏</p> <p>○圏域内ケアマネジメント研修の開催（1回） 〈開催時期〉 令和7年1月以降 〈内 容〉 合同ケアマネジメント研修の振り返りアンケートの実施</p> <p>○圏域内ケアマネジメント研修のアンケート報告・課題、情報共有</p>	<p>・ケアマネジメント研修開催回数（多職種連携、主任介護支援専門員連携） ・参加数（率）</p>

(イ) 地域ケア会議推進事業

【根拠法令】介護保険法第115条の48

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議を開催し、介護サービスだけでなく、様々な社会資源が有機的に連携することができる環境を整備し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行う。

事業内容	令和5年度 活動評価																												
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																											
<p>個別ケースの検討を行う地域ケア会議</p> <p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議</p> <p>・開催状況 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※R5年度は推計値</p> <p>・開催内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>地区</th> <th>ケース概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月</td> <td>南茅部</td> <td>妻との高齢夫婦世帯。夫婦ともに認知症、本人は車の事故を起こし在宅生活困難と思われるが家族の理解が得られないケース</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>恵山</td> <td>長男との同居。2回目の開催。本人と長男が共依存関係にあり双方が必要なサービスにつながらないケース</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>南茅部</td> <td>本人は高齢の飼い犬との生活で不衛生な環境であり、治療が必要と思われるが未受診、サービス利用拒否しているケース</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	目標数値	3	3	3	開催回数	3	3	3	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	開催月	地区	ケース概要	8月	南茅部	妻との高齢夫婦世帯。夫婦ともに認知症、本人は車の事故を起こし在宅生活困難と思われるが家族の理解が得られないケース	12月	恵山	長男との同居。2回目の開催。本人と長男が共依存関係にあり双方が必要なサービスにつながらないケース	3月	南茅部	本人は高齢の飼い犬との生活で不衛生な環境であり、治療が必要と思われるが未受診、サービス利用拒否しているケース	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やその家族の課題について、地域と専門職、さらに自立相談支援機関と協働し支援内容を検討できる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携会議を活用することにより多職種連携・地域連携・情報共有、関係者とのつながりやネットワークの構築ができており、関係者からの情報を得て個別ケースの検討を行う地域ケア会議へ展開し高齢者やその家族の課題について地域と専門職が協働し支援内容を検討する事ができた。 ・複雑化、複合化したケースでは支援が困難であるため、高齢担当および自立支援担当が協働し問題共有・問題解決に向けて支援にあたる必要があるため、エコマップ・ジェノグラムを用い、今後の支援方針・役割分担を決め取り組みを進めてきた。今後もケース検討を積み重ねチームとして機能するためスキル向上を目指す。上記内容より目標については達成できたと評価するが、継続した取組が必要である事から次年度も継続した目標とする。 <p>○自立支援型地域ケア会議</p> <p>開催日時：令和5年11月22日（水）14時～16時 会場：函館市役所8階第1会議室 事例提供者：圏域の居宅介護支援事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型地域ケア会議では、圏域内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員の協力のもと、介護支援専門員等がリハビリテーション専門職および栄養士等の専門職と連携し、身体的自立に着目したケース検討を行い、他の専門職よりアドバイス・助言をいただいたことで新たな気づきを得ることができた。 ・次年度以降も高齢者やその家族の抱える課題について、地域と専門職、自立相談支援担当などと協働し、支援内容を検討したい。
	R3年度	R4年度	R5年度																										
目標数値	3	3	3																										
開催回数	3	3	3																										
達成率	100.0%	100.0%	100.0%																										
開催月	地区	ケース概要																											
8月	南茅部	妻との高齢夫婦世帯。夫婦ともに認知症、本人は車の事故を起こし在宅生活困難と思われるが家族の理解が得られないケース																											
12月	恵山	長男との同居。2回目の開催。本人と長男が共依存関係にあり双方が必要なサービスにつながらないケース																											
3月	南茅部	本人は高齢の飼い犬との生活で不衛生な環境であり、治療が必要と思われるが未受診、サービス利用拒否しているケース																											
自立支援型地域ケア会議																													

令和6年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・高齢者やその家族の課題について、地域と専門職、さらに自立相談支援機関と協働し支援内容を検討できる。</p>	<p>○地域の関係者から個別ケースを情報収集するためのネットワーク構築</p> <p>○連携会議の開催（隔月開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数月～戸井地区（クリニック、薬局、戸井支所、東部保健事務所 居宅介護支援事業所） ・偶数月～恵山地区（市立函館恵山病院、消防署、恵山支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所） ・奇数月～楸法華地区（クリニック、消防署、楸法華支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所） ・奇数月～南茅部地区（市立函館南茅部病院、薬局2か所、駐在所、南茅部支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所） <p>○個別ケースをセンター内で共有・協議し、地域ケア会議の必要性および事例の方向性を検討、また自立支援相談機関と協働及び役割分担しチームで支援内容を検討する。</p> <p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議の開催 年3回開催（ケース相談に応じ随時開催）</p> <p>○自立支援型地域ケア会議の参加、高齢者の身体的自立に着目し、地域と専門職が協働し支援内容の検討を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数・計画達成率 ・ケースの概要 ・連携会議の回数

(イ) 地域ケア会議推進事業

事業内容	令和5年度 活動評価																									
	実績（実施回数，内容，実施方法等）	活動目標に対する評価																								
地域課題の検討を行う地域ケア会議	<p>○地域課題の検討を行う地域ケア会議</p> <p>・開催状況 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><small>※R5年度は推計値</small></p> <p>・テーマおよび主な参加機関</p> <p>令和5年6月30日（金） 榎法華総合福祉センター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <td>支え合いの地域づくり（第3回目）</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>参加機関</th> <td>町内会・民生委員・中学校・函館市老人クラブ連合会・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・支所・東部保健事務所・社協支所</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和5年11月1日（水） 榎法華総合福祉センター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <td>支え合いの地域づくり（第4回目）</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>参加機関</th> <td>町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・ホテル・函館市老人クラブ連合会・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・支所・東部保健事務所・社協支所・地域活性化グループ</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	R5年度	目標数値	2	2	2	開催回数	2	2	2	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	テーマ	支え合いの地域づくり（第3回目）	参加機関	町内会・民生委員・中学校・函館市老人クラブ連合会・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・支所・東部保健事務所・社協支所	テーマ	支え合いの地域づくり（第4回目）	参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・ホテル・函館市老人クラブ連合会・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・支所・東部保健事務所・社協支所・地域活性化グループ	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・関係機関等の情報共有・関係者がつながり・連携・協働を図ることができる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の問題、問題が生じている要因を分析し、行政・社協・地域の関係機関や民生委員・町内会・介護保険事業者等参加者一同で地域課題を整理し共有が図られた。地域のことを一緒に考える機会が持て、自分たちの地域を「見る」・「知る」、関係者が「つながる」取り組みができた。また、あらゆる世代の方々・関係機関・団体が地域でつながる大切さを実感し、地域の課題を自分自身の課題と捉え地域全体で解決に取り組むことが必要であり、そのきっかけを作ることはできたと考える。上記内容から目標は一部達成したと評価する。今後は、会議を通して地域づくりや地域に必要と考えられる資源開発について種を植え付けたことから、地域関係者が参加できるきっかけづくりや参加できる環境を整え、人が集まることで地域がつながり、つながる地域がまちを変えていくと思われるため、関わりの中から必要に応じて支援していくこととしたい。次年度については、新たに南茅部地区を中心に進めることとする。
		R3年度	R4年度	R5年度																						
	目標数値	2	2	2																						
	開催回数	2	2	2																						
達成率	100.0%	100.0%	100.0%																							
テーマ	支え合いの地域づくり（第3回目）																									
参加機関	町内会・民生委員・中学校・函館市老人クラブ連合会・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・支所・東部保健事務所・社協支所																									
テーマ	支え合いの地域づくり（第4回目）																									
参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・ホテル・函館市老人クラブ連合会・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・支所・東部保健事務所・社協支所・地域活性化グループ																									
○地域ケア会議にかかる広報・啓発活動	<p>(回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ケア会議</td> <td>1</td> <td>20</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><small>※R5年度は推計値</small></p>		R3年度	R4年度	R5年度	地域ケア会議	1	20	29	地域の見守り	2	6	16	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支え合いの地域づくりや地域の見守りの必要性を知ることができる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙を通じて地域ケア会議の取り組み記事を掲載し全戸配布し地域住民の幅広い層に周知することができた。出前講座等で支え合いや見守りについて伝えると理解はされ、活動もされているため、目標は達成できた。高齢化、人口減少が進んでいる地域であることから支え合いや地域の見守りの必要を周知する必要があるため、次年度も同様の目標に取り組むこととしたい。 												
	R3年度	R4年度	R5年度																							
地域ケア会議	1	20	29																							
地域の見守り	2	6	16																							

令和6年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民と関係機関が圏域の地域の現状と課題を確認・共有することができる。(南茅部地区)</p>	<p>○地域課題の検討を行う地域ケア会議（支え合いの地域づくりのつどい）を開催し、地域の現状と課題を確認・共有し、各地域において抽出された課題について住民自身が課題解決に向けて可能な取り組みを検討する。</p> <p>新たな取り組みの創出だけでなく、地域で既に取り組まれている活動等に光を当て地域の良さを再確認する。また、地域づくりのためには、より多くの住民が地域づくりに参加し、お互いが協力し合い地域のつながりを深めて行くことが重要と考え、地域に愛着を持ってもらうよう意識啓発をする。</p> <p>(対象地区) 南茅部地区 (開催内容) ・現状把握と課題整理・地域アンケート実施・必要な支え合いの検討 計4回開催 (開催時期) ※2カ年にわたり実施予定 第1回目/令和6年10月開催 (令和6年度) 第2回目/令和7年2月開催 (令和6年度) 第3回目/令和7年6月開催 (令和7年度) 第4回目/令和7年10月開催 (令和7年度)</p>	<p>・開催回数・計画達成率 ・検討内容</p>
<p>・支え合いの地域づくりや地域の見守りの必要性を知ることができる。</p>	<p>○支え合いの地域づくりや地域の見守りについて周知を行う。</p> <p>○社協各支所が実施する事業やサロン等の場を積極的に活用し、出前講座や講師派遣を行うことで効果的に周知する。</p> <p>○広報紙に地域ケア会議の記事を掲載し地域住民の広い層に周知を図る。</p>	<p>・地域ケア会議にかかる広報・啓発回数 ・地域の見守りにかかる広報・啓発回数</p>

イ 生活支援体制整備事業

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第5号

【目的】地域における住民主体の助け合い活動を促進する仕組みおよび高齢者の社会参加を促進する仕組みの創出ならびに充実を行う。

事業内容	令和5年度 活動評価																																							
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																						
地域ネット ワーク構築 第2層生活 支援コディ ネーター活動	○地域のネットワーク構築 ・ネットワーク構築機関数（R5年度）（機関） <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>機関数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生児童委員協議会（方面）</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>町会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> ・ネットワーク構築回数（R5年度）（回） <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>懇談会（開催・参加）</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>民生児童委員協議会定例会</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>地域密着運営推進会議</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会定例会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健医療福祉連携会議</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> ○第2層協議体 ・開催状況（回） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※R5年度は推計値</p> ・テーマおよび主な参加機関 令和5年6月30日（金） 榎法華総合福祉センター <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>支え合いの地域づくり（第3回目）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加機関</td> <td>町内会・民生委員・中学校・函老連・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所</td> </tr> </tbody> </table> 令和5年11月1日（水） 榎法華総合福祉センター <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>支え合いの地域づくり（第4回目）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加機関</td> <td>町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・ホテル・函老連・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所・地域活性化グループ</td> </tr> </tbody> </table> ○明確になった地域課題 （ 住み慣れた地域で暮らし続けられるよう互いに支え合い人と人がつながり、また、関係機関等がつながる地域づくりの意識を啓発する ）	機関名	機関数	民生児童委員協議会（方面）	2	町会	2	在宅福祉委員会	1	介護サービス事業所	13	種別	回数	懇談会（開催・参加）	2	民生児童委員協議会定例会	5	地域密着運営推進会議	14	在宅福祉委員会定例会	3	保健医療福祉連携会議	22		R3年度	R4年度	R5年度	開催回数	2	2	2	テーマ	支え合いの地域づくり（第3回目）	参加機関	町内会・民生委員・中学校・函老連・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所	テーマ	支え合いの地域づくり（第4回目）	参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・ホテル・函老連・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所・地域活性化グループ	【活動目標】 ・榎法華地域のネットワーク構築関係機関との情報共有・連携・協働を図りネットワーク構築を継続する。 【評価】 ・地域の問題、問題が生じている要因を分析し、行政・社協・地域の関係機関や民生委員・町内会・介護保険事業者等参加者一同で地域課題を整理し共有が図られた。地域の事を一緒に考える機会が持て、自分たちの地域を「見る」・「知る」、また、あらゆる世代の方々・関係機関・団体が地域でつながる大切さを実感し、地域の課題を自分自身の課題と捉え、地域全体で解決に取り組むことが必要であり、そのきっかけを作ることはできたと考える。上記内容から目標は一部達成したと評価する。これからは、参加できるきっかけづくりや参加できる環境を整え、人が集まることで地域がつながり、つながる地域がまちを変えていくと考える。地域みんなで手をたずさえ支えあって行くことを確認した。 また、Uターンや移住者などの若者が地域活性化に取り組むグループ「ライズマン」を結成し、過疎の地域に人を呼び込める仕掛けを考えたり、住んでいる地域の方々と大切にした地域にしたいとの思いを持った人達ともつながることができた。地域が世代交代するためにも活動を通じて互いに関わり交わって行けば理解が深まっていくのではないかと話し合われた。 ・「さわやか潮風ウォーキング」については、地域ケア会議（支え合いの地域づくりの集い：戸井地区）を通じて地域住民ニーズや地域課題把握をする中で「体力や筋力の維持について関心があること」を受け、第2層生活支援コーディネーターの取り組みとして、地域で生活しやすい環境の実現のため、「いつでも」「どこでも」「誰でも」行うことができる手軽な運動としてウォーキングを推奨し啓発することを目的とし1年間実施した。一定程度事業を通じて日常的にウォーキングを継続し、健康・体力の維持を図る意識啓発ができたため、事業終了とした。
	機関名	機関数																																						
	民生児童委員協議会（方面）	2																																						
	町会	2																																						
	在宅福祉委員会	1																																						
	介護サービス事業所	13																																						
	種別	回数																																						
	懇談会（開催・参加）	2																																						
	民生児童委員協議会定例会	5																																						
	地域密着運営推進会議	14																																						
在宅福祉委員会定例会	3																																							
保健医療福祉連携会議	22																																							
	R3年度	R4年度	R5年度																																					
開催回数	2	2	2																																					
テーマ	支え合いの地域づくり（第3回目）																																							
参加機関	町内会・民生委員・中学校・函老連・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所																																							
テーマ	支え合いの地域づくり（第4回目）																																							
参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・ホテル・函老連・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所・地域活性化グループ																																							

令和6年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民と関係機関が圏域の地域の現状と課題を確認・共有する。(南茅部地区)</p>	<p>○地域課題の検討を行う地域ケア会議（支え合いの地域づくりのつどい）を開催し、地域の現状と課題を確認・共有し、各地域において抽出された課題について住民自身が課題解決に向けて可能な取り組みを検討する。</p> <p>新たな取り組みの創出だけでなく、地域で既に取り組まれている活動等に光を当て地域の良さを再確認する。また、地域づくりのためには、より多くの住民が地域づくりに参加し、お互いが協力し合い地域のつながりを深めて行くことが重要と考え、地域に愛着を持ってもらうよう意識啓発をする。</p> <p>(対象地区) 南茅部地区</p> <p>(開催内容) ・現状把握と課題整理・地域アンケート実施・必要な支え合いの検討 計4回開催 (開催時期) ※2カ年にわたり実施予定 第1回目/令和6年10月開催 (令和6年度) 第2回目/令和7年2月開催 (令和6年度) 第3回目/令和7年6月開催 (令和7年度) 第4回目/令和7年10月開催 (令和7年度)</p>	<p>・開催回数・計画達成率 ・検討内容</p>

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

事業内容	令和5年度 活動評価																												
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																											
第2層生活支援コーディネーター活動	<p>○自主グループへの支援</p> <p>①若々体操の会活動支援 2回 リーダーが中心となって運営できているが、年2回センター中心に内容を決めて実施してほしいとの要望があり支援。自主活動で実施しない体操を行ったが、たまに違う体操をするのが新鮮であるとの声があり、次年度以降も支援を希望される。</p> <p>②汐首町会 汐首わくわくサロン活動支援 11回 サロンの活動については、リーダーが中心となり進行できているが、包括へも継続的に関わってほしいとの意向もあることから、継続的に支援を進めることとしたい。</p>	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主活動グループが継続して活動が行える。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若々体操の会、汐首わくわくサロンについては、活動会場の確保を行うことでリーダーが中心となり自主活動が行えており、活動内容も自分たちで検討できるようになっている。センターとして積極的な支援は必要ないものの、会場の確保や実施内容等への助言、実施状況の把握を継続することで自主活動が継続できると考えられるため、継続して支援していくこととしたい。 ・戸井地区浜町運動教室、恵山地区元気ハツラツ日ノ浜教室、元気ハツラツ恵山教室については、各リーダーが問題なく運営できており、出前講座等で活動状況の確認や情報提供を行い支援していくこととしたい。 <p>上記内容から目標は達成できたと評価する。次年度については、自主活動グループへ支援継続するとともに、地域によっては自主活動グループがない地域があるため、新たな活動グループの掘り起こしに取り組むこととしたい。</p>																											
	<p>○地域の支え合いや介護予防にかかる広報・啓発活動</p> <p>・開催回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5年度は推計値</p> <p>○広報啓発活動 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙の発行</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>パンフレット等の配布</td> <td>11</td> <td>25</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>出前講座・講師派遣</td> <td>7</td> <td>19</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5年度は推計値</p> <p>・出前講座・講師派遣の依頼機関 恵山支所 社協恵山支所 社協南茅部支所 函老連恵山地区連絡協議会 恵山地区身体障害者福祉協会</p> <p>○ 戸井学園餅つき体験多世代交流 日時：令和6年1月11日（木） 9:30~11:00 参加者：戸井学園5年、6年生17名、ボランティア6名 社協戸井支所1名、恵山支所1名 戸井教育事務所2名、センター職員5名</p> <p>場所：戸井西部総合センター 多世代交流を通じ、餅つきに限らず豊富な知恵や技を持つ高齢世代から子ども達が学ぶきっかけとなり、高齢者の社会参加のきっかけや高齢者の支え手として児童にも意識していただく機会となった。</p>		R3年度	R4年度	R5年度	介護予防	7	3	19	地域の見守り	2	6	18		R3年度	R4年度	R5年度	広報紙の発行	2	2	2	パンフレット等の配布	11	25	37	出前講座・講師派遣	7	19	22
	R3年度	R4年度	R5年度																										
介護予防	7	3	19																										
地域の見守り	2	6	18																										
	R3年度	R4年度	R5年度																										
広報紙の発行	2	2	2																										
パンフレット等の配布	11	25	37																										
出前講座・講師派遣	7	19	22																										
住民主体の助け合い活動等の重要性についての普及啓発																													

令和6年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・元気高齢者が地域活動に関心や興味を持つことができる。</p>	<p>○自主活動グループに対する活動継続支援（出前講座含む） （戸井地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若々体操の会 ・汐首わくわくサロン ・浜町運動教室 （恵山地区） ・元気ハツラツ日ノ浜教室 ・元気ハツラツ恵山教室 <p>○新たな自主活動グループの掘り起こし、情報整理 （戸井地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬田来地区での取組について活動への打診 ・実施に向けての調整 （椴法華地区） ・過去に活動していた自主グループ（とどっこ）へ活動再開の打診 ・実施に向けての調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動支援回数 ・栄養教室開催回数 ・出前講座回数
<p>・多世代交流を通して社会参加や生きがい活動が行える。</p>	<p>○介護予防への取り組みを広報紙を通して啓発することで、他地域での活動の様子を情報共有するとともに、介護予防への意識醸成を図る。</p> <p>○地域の支え合いや介護予防について町内会・民生児童委員協議会・在宅福祉委員会・老人クラブ・地域ケア会議・出前講座・外部主催研修自主活動グループ等へ広報紙・リーフレット・パンフレットを配布し普及啓発を図る。</p> <p>○多世代交流の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸井学園5年生、6年生向けに地域のボランティアとマッチングを行い餅つき体験交流会の実施を行う。 ・単年度での開催ではなく、継続開催ができるよう学校とも情報共有を行い、PTA等の参加も促し、児童、子育て世代、高齢者が共同で活動できるように関わりを持っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防にかかる 広報・啓発回数 ・地域の見守りにかかる 広報・啓発回数 ・多世代交流実施（有無）

ウ 認知症総合支援事業

(7) 認知症地域支援・ケア向上事業

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第6号

【目的】認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症地域支援推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

事業内容	令和5年度 活動評価																	
	実績（実施回数，内容，実施方法等）	活動目標に対する評価																
認知症 初期集中 支援推進 事業	<p>1. 認知症初期集中支援チームとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事例実績なし ・チーム員会議への出席はなし <p>○認知症に関する相談内容内訳（延・重複あり） (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症</td> <td>35</td> <td>15</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R5年度は推計値</p> <p>○認知症に関する広報啓発 (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症広報啓発</td> <td>2</td> <td>28</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R5年度は推計値</p>		R3年度	R4年度	R5年度	認知症	35	15	21		R3年度	R4年度	R5年度	認知症広報啓発	2	28	11	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人や家族に早期に関わり対応が行える。 <p>【評価】</p> <p>・認知症初期集中支援チームのケース対応はなかったが、総合相談により認知症について対応を行い早期に対応できたため、目標は達成できたと評価する。認知症初期支援チームでの対応ケースがあれば、対象として検討するが、総合相談で対応できる場合、これまで同様の対応を実施することとし、同様の目標で取り組むこととしたい。</p>
	R3年度	R4年度	R5年度															
認知症	35	15	21															
	R3年度	R4年度	R5年度															
認知症広報啓発	2	28	11															
認知症 地域支援 ケア向上 事業	<p>2. 認知症サポーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年7月21日(金)：えさん小学校 5・6年生に実施 11名 (座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方を実施) ・令和5年8月17日(木)：戸井学園 5・6年生に実施 8名 (座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方を実施) ・令和5年10月23日(月)：恵山中学校 2年生に実施 13名 (座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方や高齢者の疑似体験を実施) ・令和5年10月27日(金)：椋法華小学校 5・6年生に実施 4名 (座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方を実施) <p>3. 認知症地域支援推進員連絡会参加 第1回 令和5年4月10日(月) 参加 第2回 令和5年8月23日(水) 参加 第3回 令和6年3月1日(金) 業務により不参加</p> <p>4. 認知症ケアパス普及に関して (配布先)</p> <p>(えさん小学校、戸井学園、椋法華小学校、恵山中学校、レインボー薬局戸井店、みなかわ調剤薬局、さくら薬局南かやべ店、戸井歯科診療所、杉山クリニック、椋法華クリニック、南茅部駐在所)</p>	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を支える若い世代が認知症に関する理解を深めることができる。 <p>【評価】</p> <p>・えさん小学校、恵山中学校の生徒へ認知症サポーター養成講座は計画通り実施でき、新たに戸井学園、椋法華小学校で開催できた。各学校では継続的に取り組みたいと意向が確認できており、継続的に実施できるように学校との関係を構築していきたい。上記取組から目標は達成できたと評価する。また、若い世代へ認知症に関する理解を深めるためには、継続的な対応が必要であることから、次年度も同様の目標とし、新たに開催できる学校を開拓することとしたい。</p>																

令和6年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・認知症の人や家族に早期に関わり対応が行える。</p>	<p>○認知症初期集中支援チームとの連携・認知症初期集中支援チームとしての関わりが必要であるケースについては、チーム員として取り組むこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム員会議への出席 <p>○認知症に関する広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や広報紙を通して広報啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チーム員会議の開催数 ・認知症に関する相談数 ・広報、啓発回数
<p>・高齢者を支える若い世代が認知症に関する理解を深めることができる。</p>	<p>○認知症サポーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えさん小学校 5年生、6年生向けに実施 ・恵山中学校 2年生向けに実施 ・戸井学園 5年生、6年生向けに実施 ・椴法華小学校 5年生、6年生向けに実施 ・その他団体等については随時対応 <p>○認知症サポーター養成講座の開催への打診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南茅部小学校へ開催に向けて相談 <p>○広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や広報紙を通して広報啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の開催 ・新たに実施した機関 ・広報、啓発回数

(7) 認知症地域支援・ケア向上事業

事業内容	令和5年度 活動評価	
	実績（実施回数，内容，実施方法等）	活動目標に対する評価
認知症 地域支援 ケア向上 事業	<p>5. 認知症カフェの開催</p> <p>日時：令和5年7月24日（月）10:30～12:00 場所：通所介護事業所 とい 参加者数：9名 講師：センター社協 職員 「認知症について講話」 「交流会としてカーリンコン実施」 主催：たんぼぼの会、協力：地域包括支援センター社協</p> <p>日時：令和5年9月25日（月）10:30～12:00 場所：通所介護事業所 とい 参加者数：9名 講師：函館市市民部交通安全課 職員2名 「安全運転について講話、脳トレ実施」 「交流会としてカーリンコン実施」 主催：たんぼぼの会、協力：地域包括支援センター社協</p>	<p>【活動目標】</p> <p>・認知症の人やその家族が集い情報共有や支え合いが行える。</p> <p>【評価】</p> <p>・年2回開催の計画しており、計画に沿った取組が行えた。参加者には夫を介護された方が参加されており、実際に介護しているときはどこに相談したら良いかわからない方も多くいると思うため、認知症カフェの取組はとても良いと声が聞かれていた。認知症カフェの開催が情報共有の場として機能していると評価できるため目標は達成できたと評価する。今後もたんぼぼの会と開催回数や実施内容について相談しながら継続開催できるように支援を行い、取り組むこととしたい。活動目標は、次年度も同様の目標で取り組むこととしたい。</p>
	<p>6. 認知症カフェフォーラムの企画・準備</p> <p>打ち合わせ会議1回目:令和5年5月19日（金） 打ち合わせ会議2回目:令和5年6月27日（火） 打ち合わせ会議3回目:令和5年8月14日（月） 打ち合わせ会議4回目:令和5年9月27日（水） 打ち合わせ会議5回目:令和5年10月17日（火）</p> <p>・令和5年11月6日（木） 令和5年度函館市認知症カフェフォーラム開催</p>	<p>【活動目標】</p> <p>・認知症ケアについて多職種と協働で支援が行える。（認知症地域支援推進員の活動）</p> <p>【評価】</p> <p>・認知症カフェフォーラムの開催や2023アルツハイマー月間inはこだでの開催を通して多職種と協働で開催し支援への理解を深めることができたことと評価する。目標については、継続的に取り組む必要があることから次年度も同様の目標で取り組み、新たな取り組みとしては、2025年チームオレンジ立ち上げに向けてキャラバンメイトのステップアップ講座について検討することとしたい。</p>
	<p>7. 認知症地域支援推進員研修および認知症に関する研修会への参加（その他）</p> <p>・令和5年9月21日（木） 世界アルツハイマーデー2023inはこだで開催協力</p>	<p>【活動目標】</p> <p>・各種研修を受講することで認知症地域支援推進員として新たな知識を習得し、対応が行える。（認知症地域支援推進員としての活動）</p> <p>【評価】</p> <p>・認知症地域支援推進員研修は受講済みのため参加しなかった。認知症に関する研修会については、他の研修や会議等で調整ができなかったことや参加申込をするも業務の都合で受講できないことがあった。次年度は受講調整を行い参加することとし、知り得た情報をもとに地域で活用できる取組を検討することとしたい。</p>

令和6年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・認知症の人やその家族が集い情報共有や支え合いが行える。</p>	<p>○認知症カフェの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェとい茶屋開催 年3回（7月・9月・12月） 主催：たんぼの会 協力：地域包括支援センター社協 ・開催場所については、戸井西部総合センターおよび戸井生涯学習センターを利用し、戸井地区の住民が参加しやすいように計画する。 <p>○広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や広報紙を通して広報啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの開催 ・新たに実施した機関 ・広報、啓発回数
<p>・認知症ケアについて多職種と協働で支援が行える。 （認知症地域支援推進員の活動）</p>	<p>○多職種研修会開催の企画・準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催に向けての打ち合わせ、協力 <p>○2025年チームオレンジ立ち上げ準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラバンメイトのステップアップ講座について検討 <p>○認知症カフェフォーラム開催の企画・準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催に向けての打ち合わせ、協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修開催の企画・準備の回数
<p>・各種研修を受講することで認知症地域支援推進員として新たな知識を習得し、対応が行える。 （認知症地域支援推進員としての活動）</p>	<p>○認知症地域支援推進員研修および認知症に関する研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他認知症に関する研修会へ参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会への参加回数